

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	嬉野市立轟小学校
-----	----------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 総合評価については、全てにおいて成果指標を達成することができた。引き続き、取組の充実に努める。 食事の質の充実に向けた取組をしていく。 家庭と連携した将来の夢や目標をもつ児童の育成に取り組む。
------------------	--

2 学校教育目標	夢をもち、ふるさとを愛し、生き生きと学ぶ轟っ子の育成 ～高い志をもつ、持続可能な社会の創り手とするために～
----------	---

3 本年度の重点目標	①主体的な学びと豊かな表現力の育成 ②心に響く生徒指導及び特別支援教育の充実 ③健康で逞しい体づくり ④地域コミュニティ等との連携協働による教育活動の推進 ⑤ICT活用教育の推進
------------	---

4 重点取組内容・成果指標

重点取組	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
				進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				評価項目	取組内容	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師90%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。							◎学力向上対策コーディネーター ・研究主任 ・しっかり学ぶ子PJ
	○根拠や理由を明確にして、自分の考えを書いたり話したりする能力の育成を図る。	○「友達と話し合う活動を通して、自分の考えの根拠や理由がはっきりした」と回答した児童の割合90%以上	・意図的、計画的な話し合う活動の場の設定や、考えを発表したり書いたりすることができるような支援を行う。							◎学力向上対策コーディネーター ・研究主任 ・しっかり学ぶ子PJ
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童90%以上	・道徳教育や体験学習、奉仕体験などの様々な活動を通して、児童の心に響く指導の充実を図る。							◎道徳教育推進教師 ・いたわる心PJ
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止について、組織的対応ができていると回答した教師90%以上	・いじめ問題に関する体制を明確化し、報告・連絡・相談を徹底する。							◎生徒指導主任 ・いたわる心PJ
●健康・体づくり	◎児童が夢や目標をもち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	○「将来の夢や目標をもっている」について肯定的な回答をした児童90%以上	・キャリアパスポートを活用し、節目の時期に児童が自身の姿や成長を自己評価できるようにする。また、その取組について、保護者へ周知を図る。							◎特活主任 ・各担任 ・教務主任
	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に食事は大切である」と考える児童90%以上	・学校栄養士と担任による食育の授業、食生活改善推進協議会と連携した授業や、食育月間の取組の充実を図る。 ・学校での取組を学校だより、学校HP、食育だより、コミュニティ通信等で積極的、計画的に発信する。							◎体育主任 ・バランス体PJ
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	○「運動習慣の改善や定着化」	○授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒80%以上	・週に1回、縦割り班で外で遊ぶ日を設定し、運動や遊びに親しみをもって取り組めるようにする。							◎体育主任 ・バランス体PJ
	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限(月45時間)を遵守する。	・定時退勤日(毎週金曜日)を確実に実施し、18時に施錠する。 ・会議等の終了時刻を明示し、話し合いの時間を削減する。							管理職

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

重点取組	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
				進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				評価項目	重点取組内容	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	
○小中連携	○小中連携による学力向上の推進	○中学校区で定めた学力向上の取組を達成した教師90%以上	・「授業づくりのステップ1・2・3」を活用したわかる授業の確実な実施を図る。 ・意図的、計画的に「書く活動」と「話し合う活動」の場を設定する。							◎研究主任 ○学力向上コーディネーター
○特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○特別支援教育に関する専門性が前年度より向上した教員90%以上	・特別支援教育に関する研修会の実施(8月) ・ケース会議の開催(随時)、気になる児童の情報共有(毎週火曜日)と共通実践							◎教育相談 ・特別支援教育担当
○ICT活用教育の推進	○ICTを効果的に活用した教育活動の充実	○ICTに関するアンケートにおいて、肯定的な回答をした児童80%以上	・ICT教育に関わる個人研修を年に一回以上実施する。 ・ICTの活用方法について全教職員で共有し、指導の充実を図る。							◎情報教育推進リーダー ・しっかり学ぶ子PJ
○保護者、地域との連携	○「コミュニティ・スクール」としての開かれた学校づくり	○保護者アンケートで「開かれた学校づくりに努めている」の肯定的な回答を90%以上に上げる。	・地域コミュニティと連携した教育活動の様子を、学校HPや学校・学級だより等で定期的かつ積極的に情報発信する。							管理職

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	
--------------------	--